



2030年度に向けた成長戦略説明会

社是

- 一 消費者の立場になって
価値ある製品を作ろう
- 二 協力一致清新な会社を
建設しよう
- 三 自己の向上にとつとめ常に
意欲的に前進しよう



成長戦略

日本

インド

欧州

カーボンニュートラル
社会の実現

新興国の成長に貢献
(インド、ASEAN、アフリカ等)

スズキらしい解決策

お客様の立場になった
製品・サービス作り

進出国・地域と
共に成長

1. スズキの軌跡
2. カーボンニュートラル
3. リソース
4. 成長目標

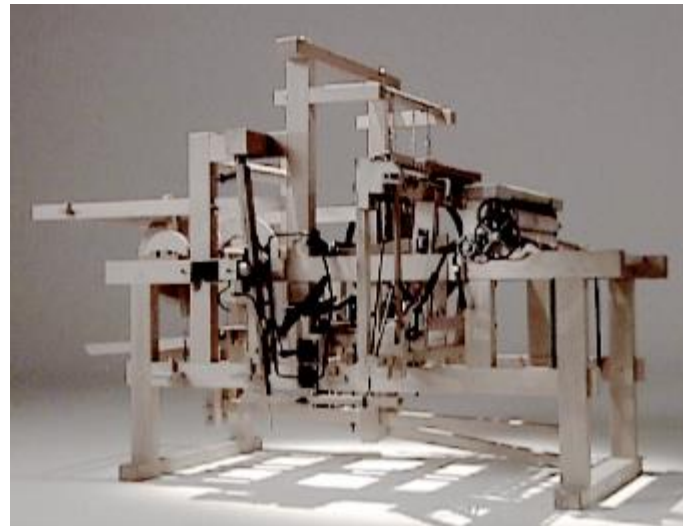
1. スズキの軌跡

母の織物仕事を楽にしたい

創業者 鈴木道雄



母に贈った第1号機



1910年代の織機 (復元)

鈴木式織機製作所



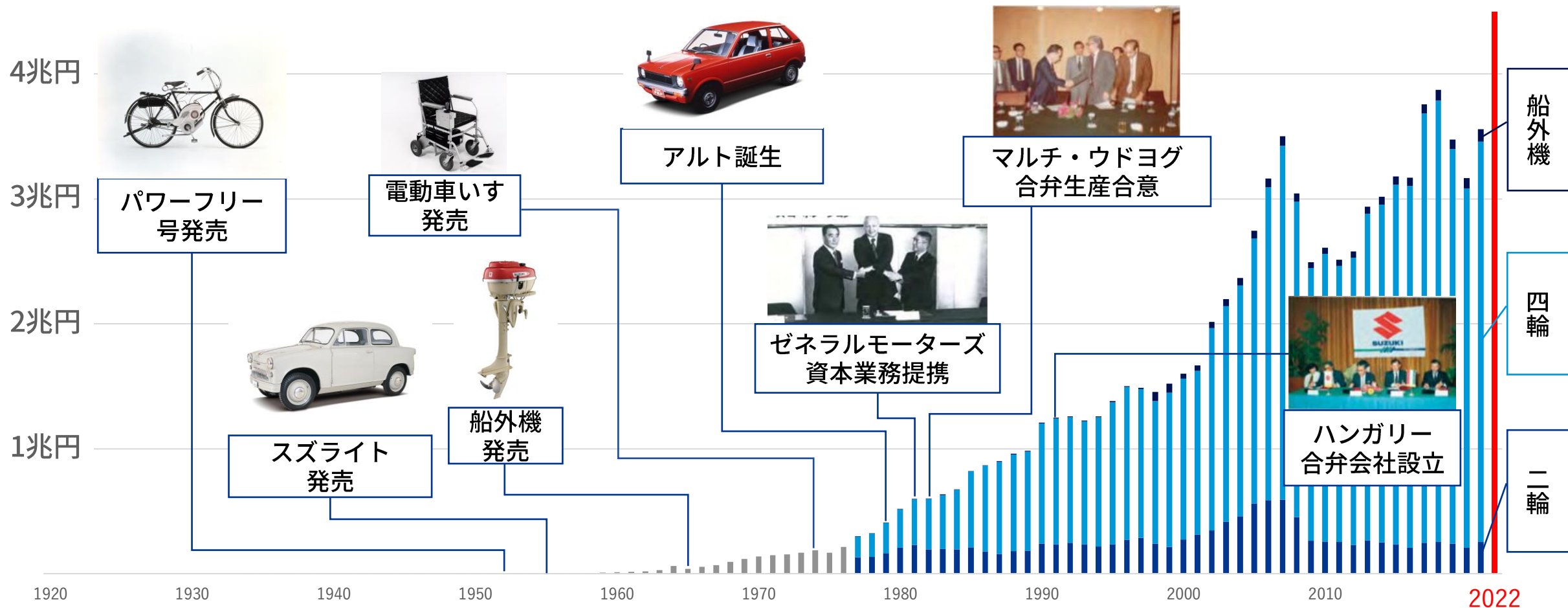
スズキの軌跡 | 事業の拡大 (売上高推移)

織機製造

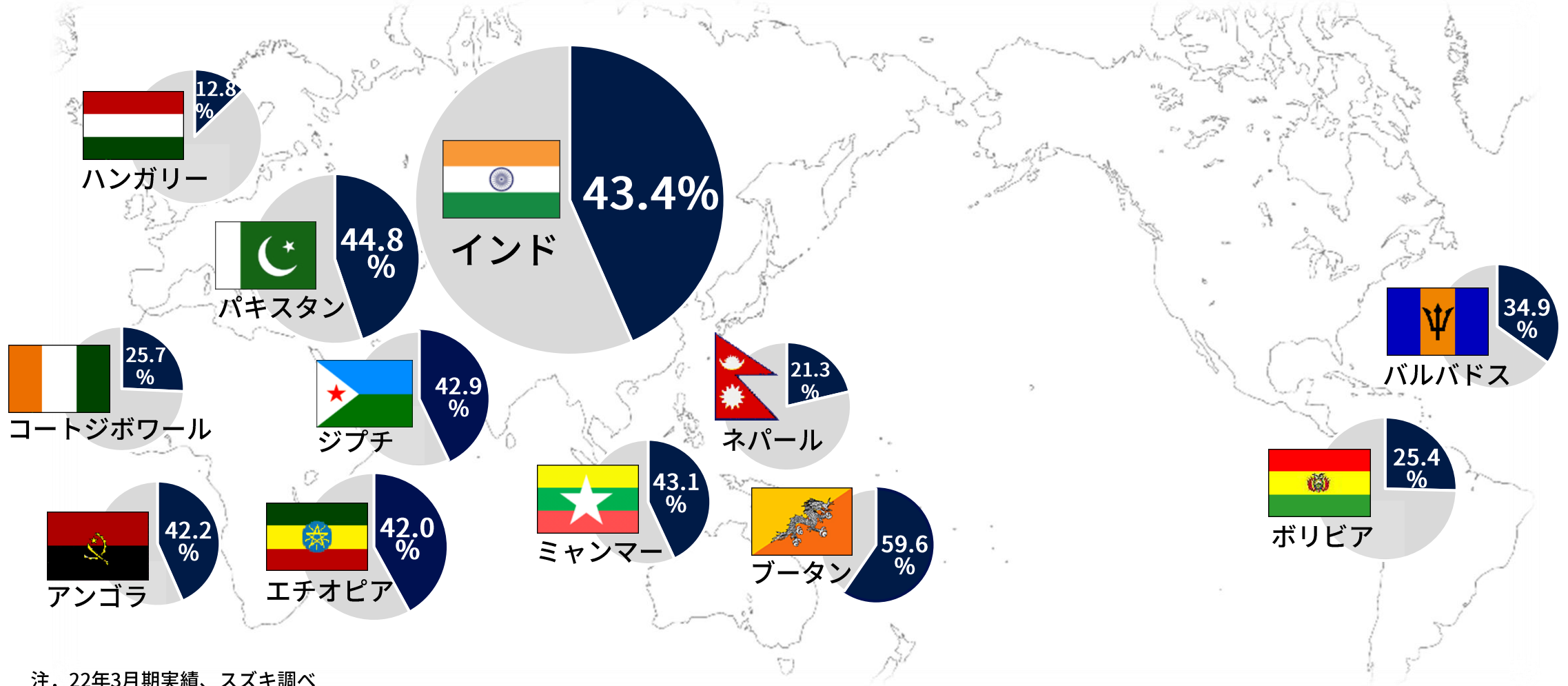
二輪事業

四輪事業

マリン事業



世界12か国で四輪シェア1位



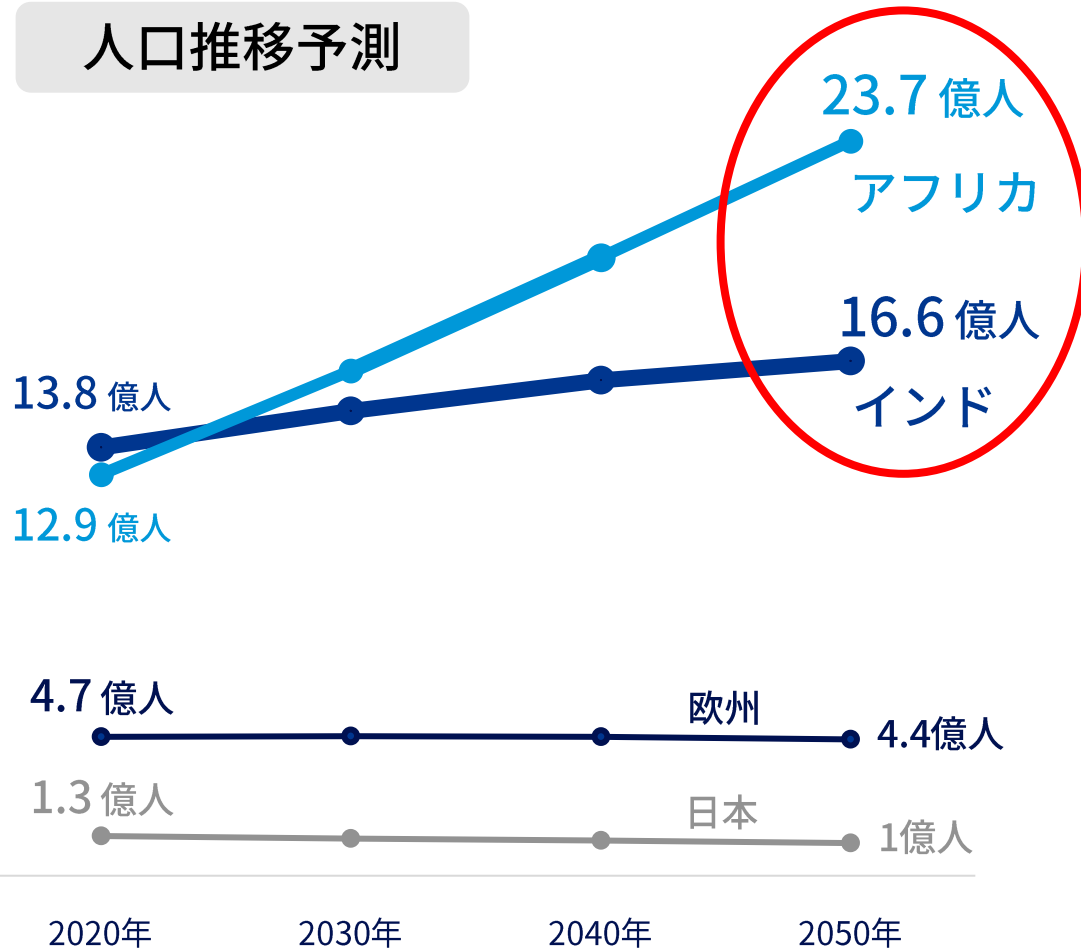
注. 22年3月期実績、スズキ調べ
・インドは乗用車シェア ・パキスタンは輸入車含む ・コートジボワールは21年暦年

お客様の生活や仕事を支える製品・サービスの提供



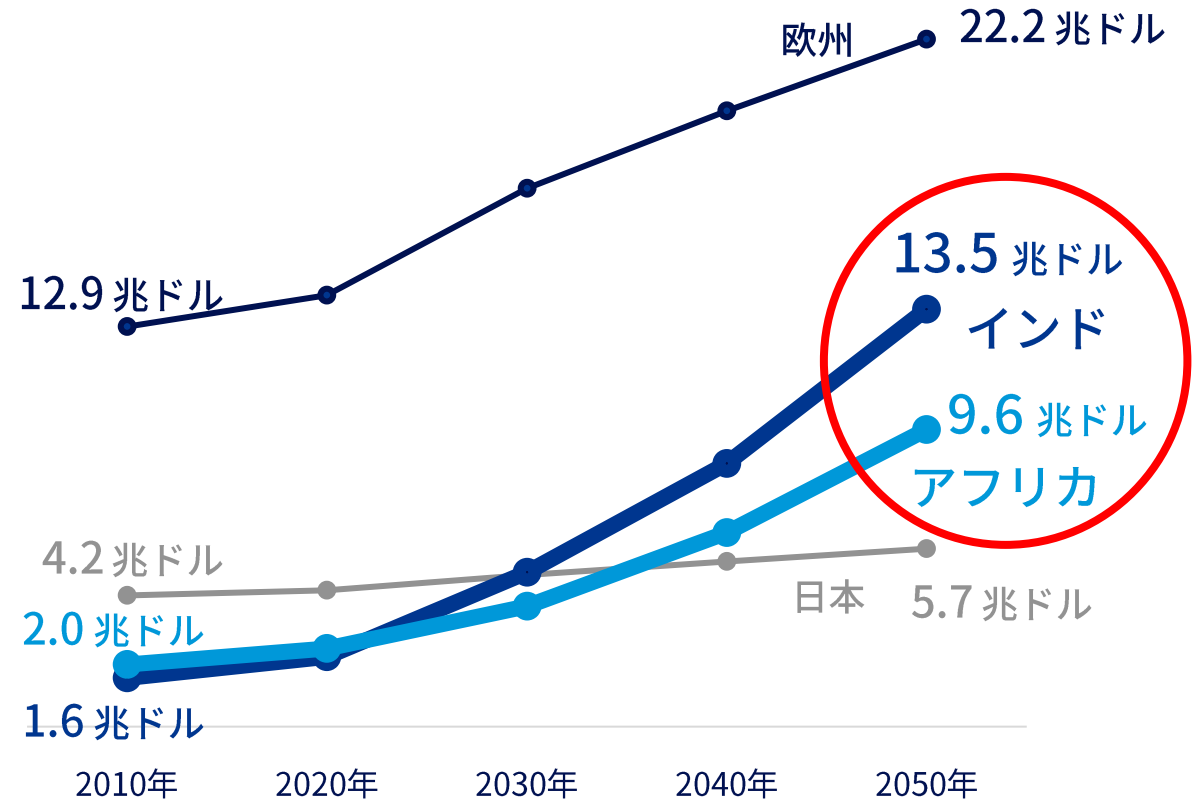
インド・アフリカは、人口・名目GDPともに増加見込み

人口推移予測

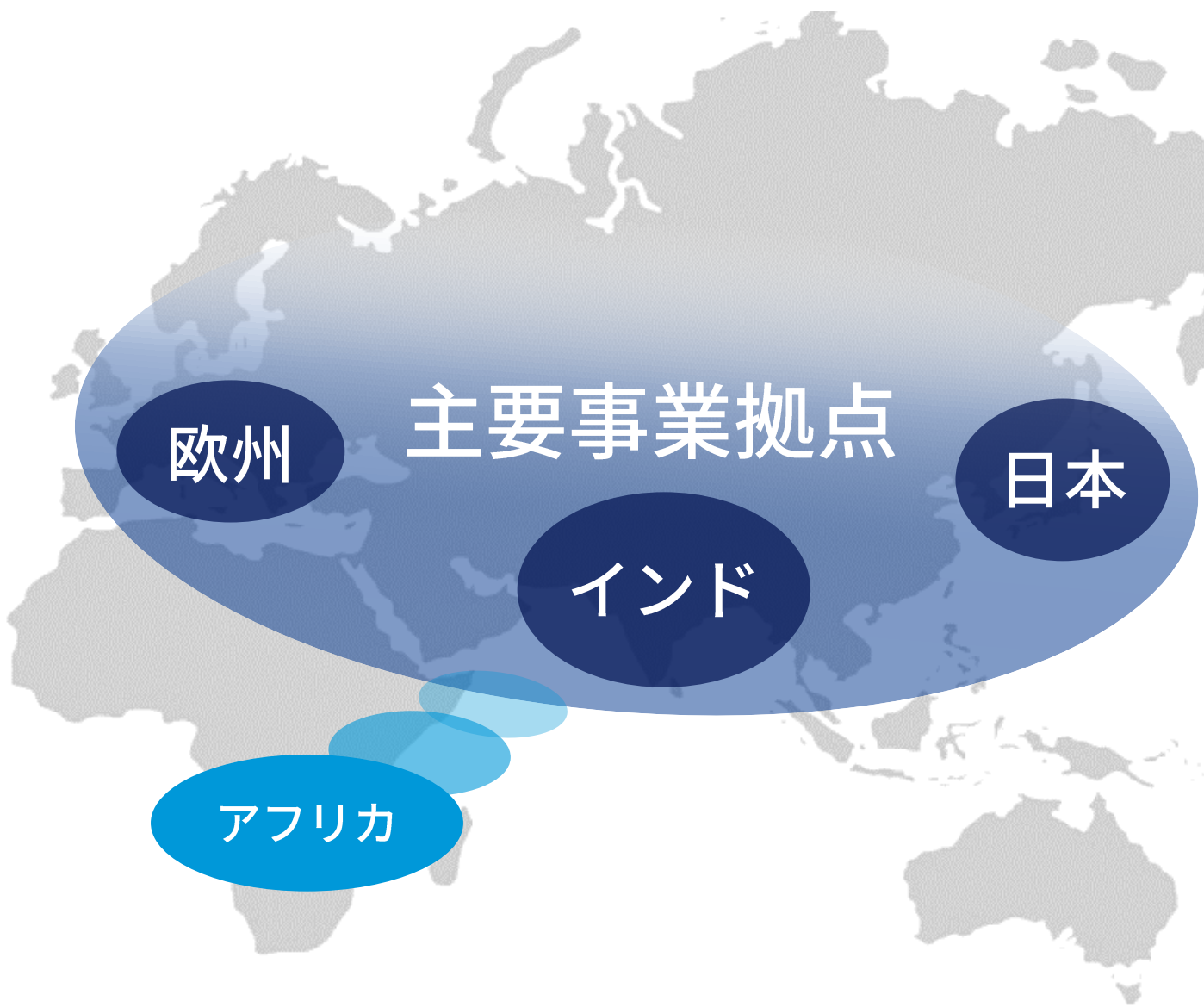


出展：IEEJ

名目GDP予測



出展：IEEJ



日本・欧州

技術・製品を作り出し、磨く

インド

広く・深く・徹底的に根付き
社会とお客様の期待に応える

アフリカ

将来有望な市場

2. カーボンニュートラル

カーボンニュートラル達成目標

欧州

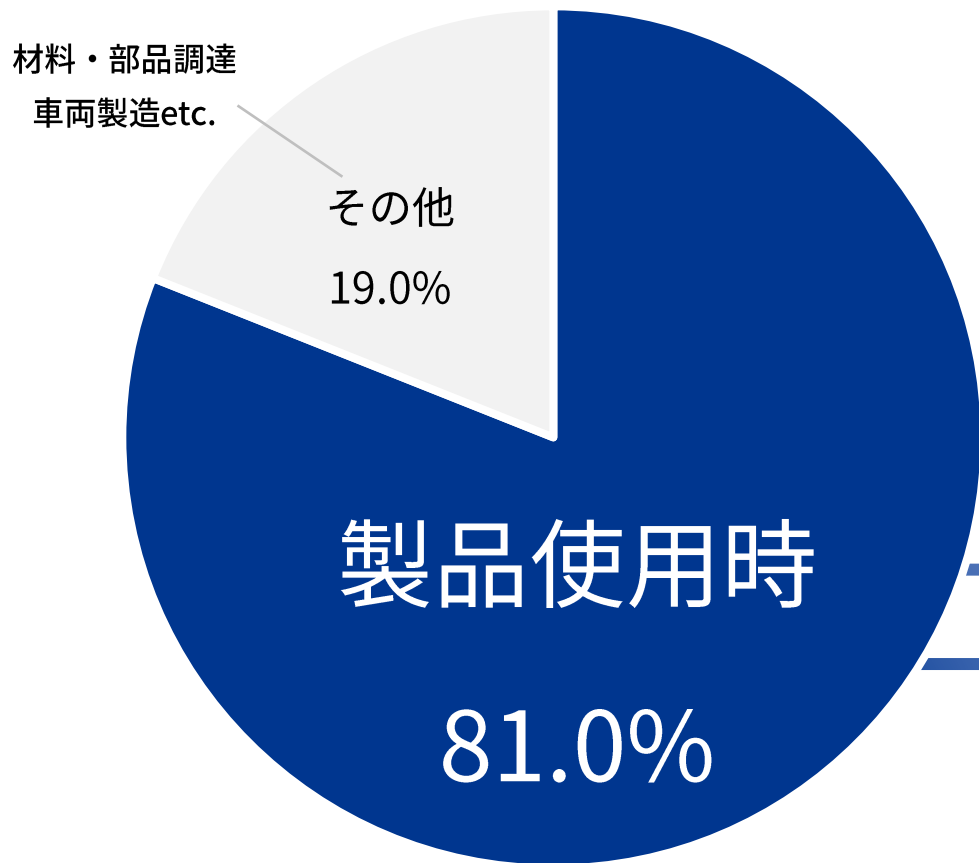
2050年

日本

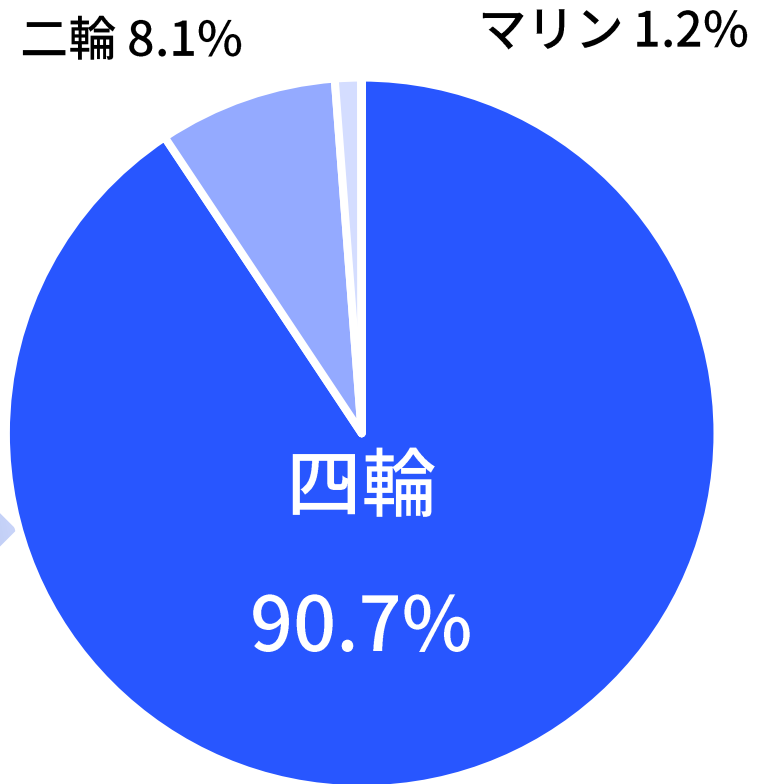
インド

2070年

製品ライフサイクルを含む
事業活動全体のCO₂排出量



製品使用時における
CO₂排出量

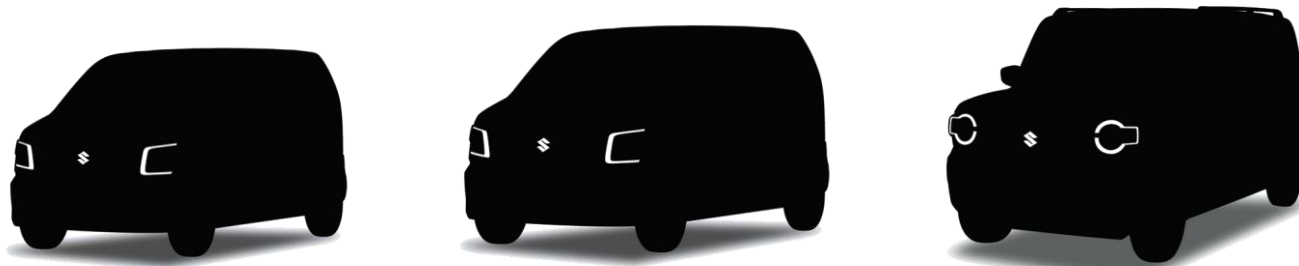


2030年度までの製品計画（日本）

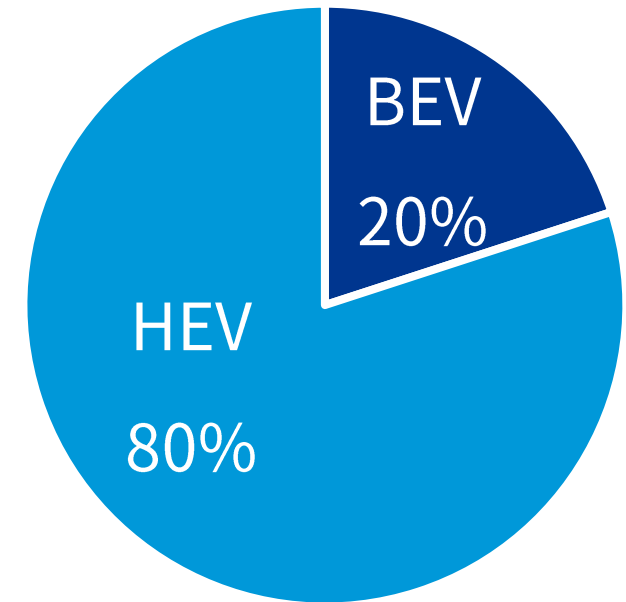
2023年度にバッテリーEV初投入

バッテリーEVラインナップ

パワートレイン比率



6 モデルを展開



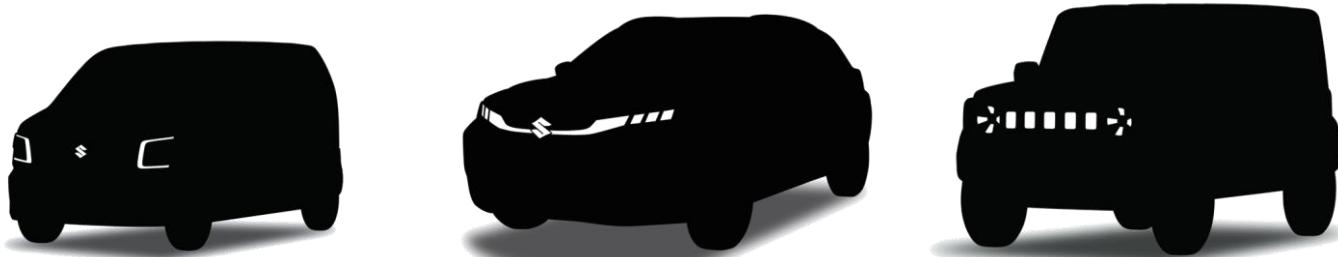
（乗用車のみ）

2030年度までの製品計画（欧州）

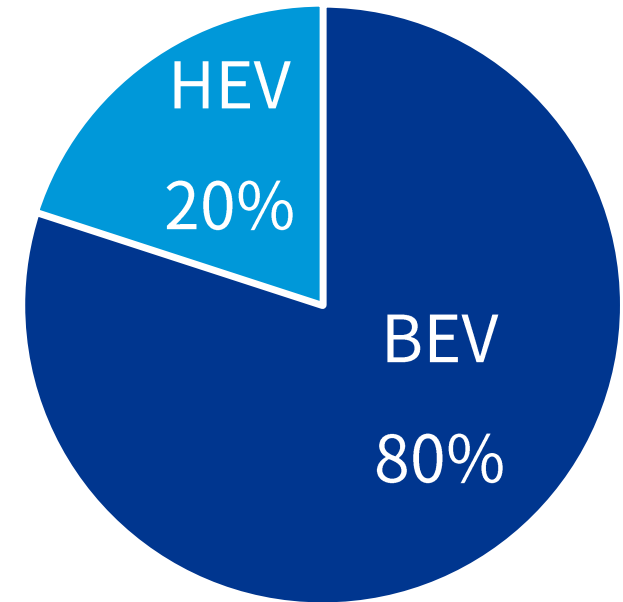
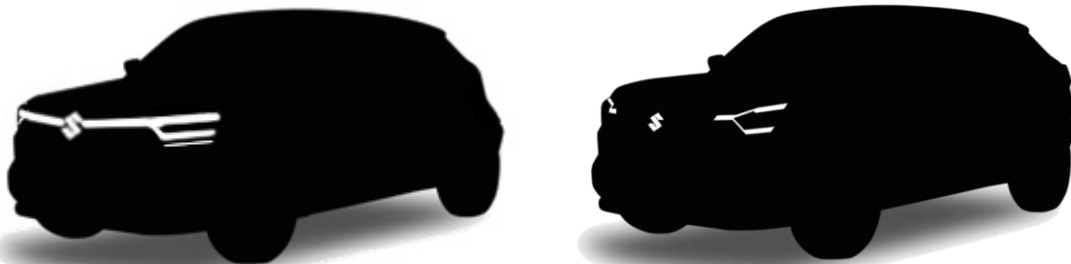
2024年度にバッテリーEV初投入

バッテリーEVラインナップ

パワートレイン比率



5 モデルを展開

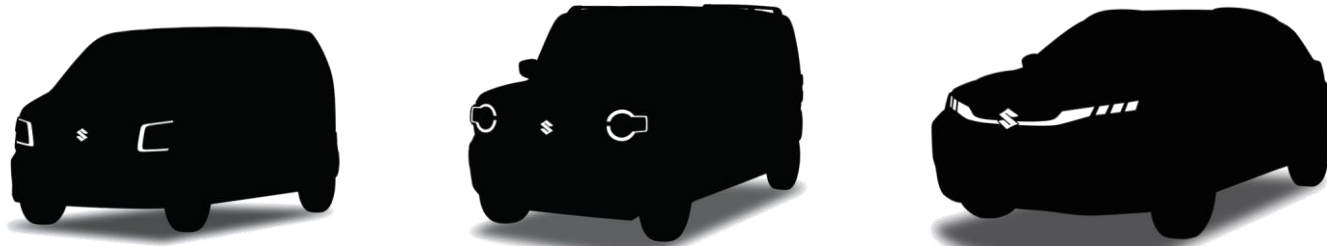


2030年度までの製品計画（インド）

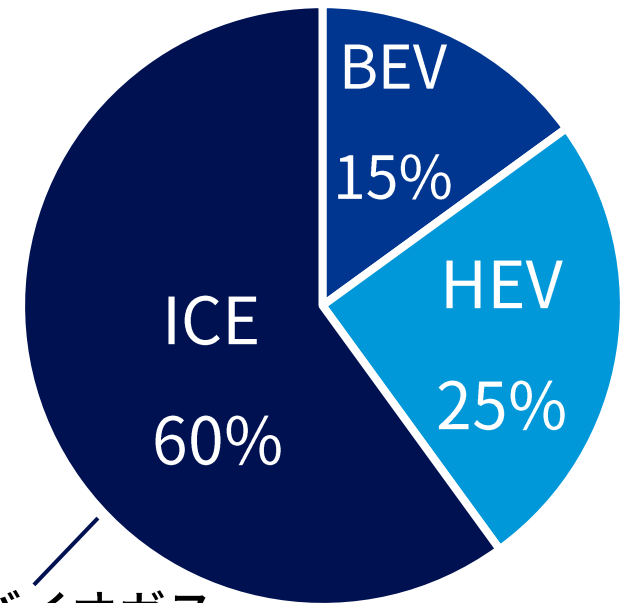
2024年度にバッテリーEV初投入

バッテリーEVラインナップ

パワートレイン比率



6モデルを展開

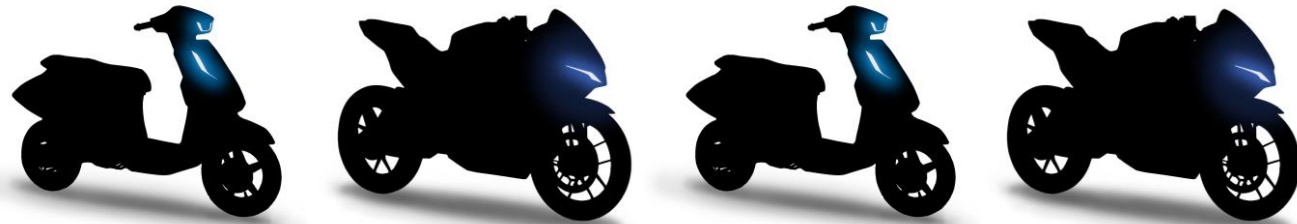


CNG、バイオガス、エタノール配合燃料など

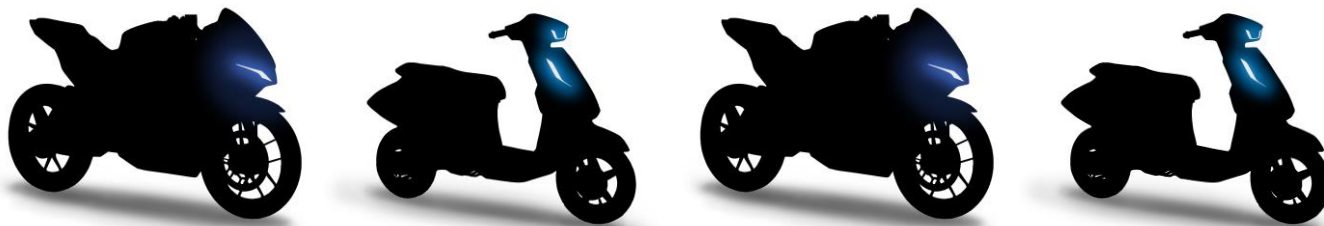
2030年度までの製品計画（全世界）

2024年度にバッテリーEV初投入

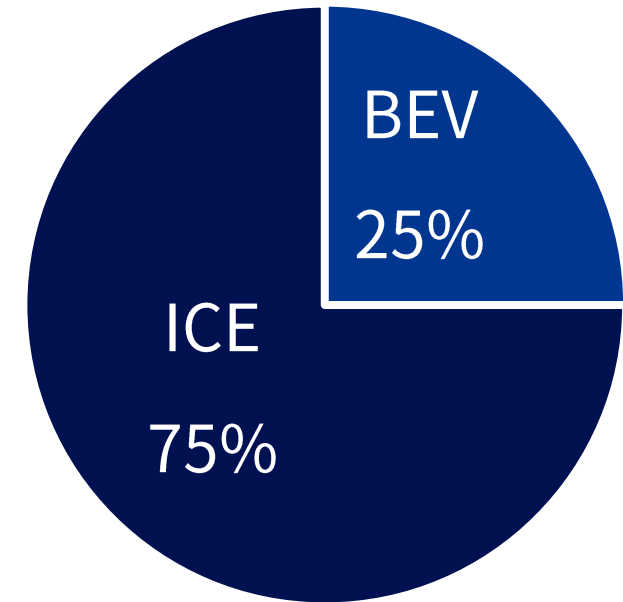
バッテリーEVラインナップ



8 モデルを展開



パワートレイン比率



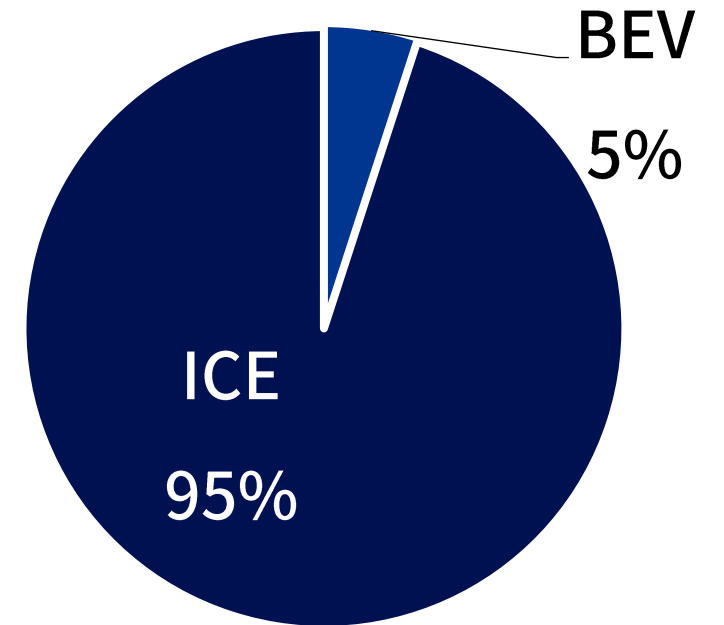
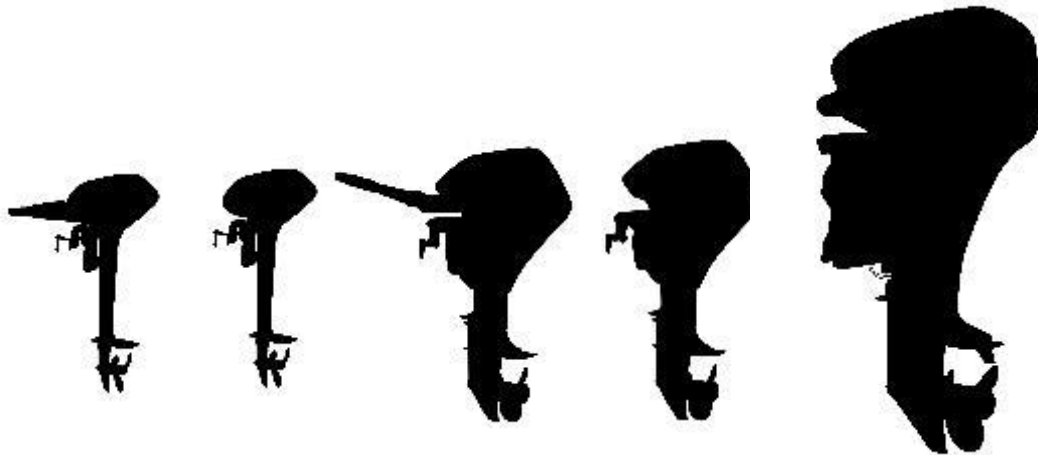
2030年度までの製品計画（全世界）

2024年度にバッテリーEV初投入

バッテリーEVラインナップ

パワートレイン比率

5モデルを展開



クリーンオーシャンプロジェクト

SUZUKI CLEAN-UP THE WORLD CAMPAIGN 2021

世界清掃活動

CLEAN OCEAN PROJECT
SUZUKI

2010年からの累計参加者12,881名



梱包脱プラ活動

2020年からの累計削減量23トン

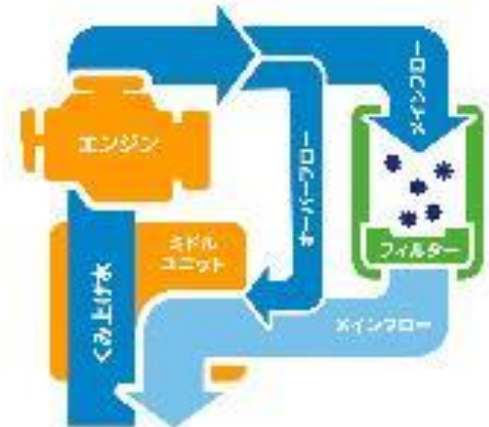


マイクロプラスチック回収装置

2022年7月より5機種に標準装備



マイクロプラスチック回収装置模式図



2023年度～2030年度の資源投入

電動化関連投資 (研究開発・設備投資)

2兆円

うち、電池関連投資

0.5兆円

(内閣広報室提供)



TDSG社 2021年3月よりセル生産開始



インドでの電気自動車および車載用電池生産に関する覚書をグジャラート州と締結



社会課題の
解決

お客様ニーズ
新たな市場



生活を支える

小さなモビリティ

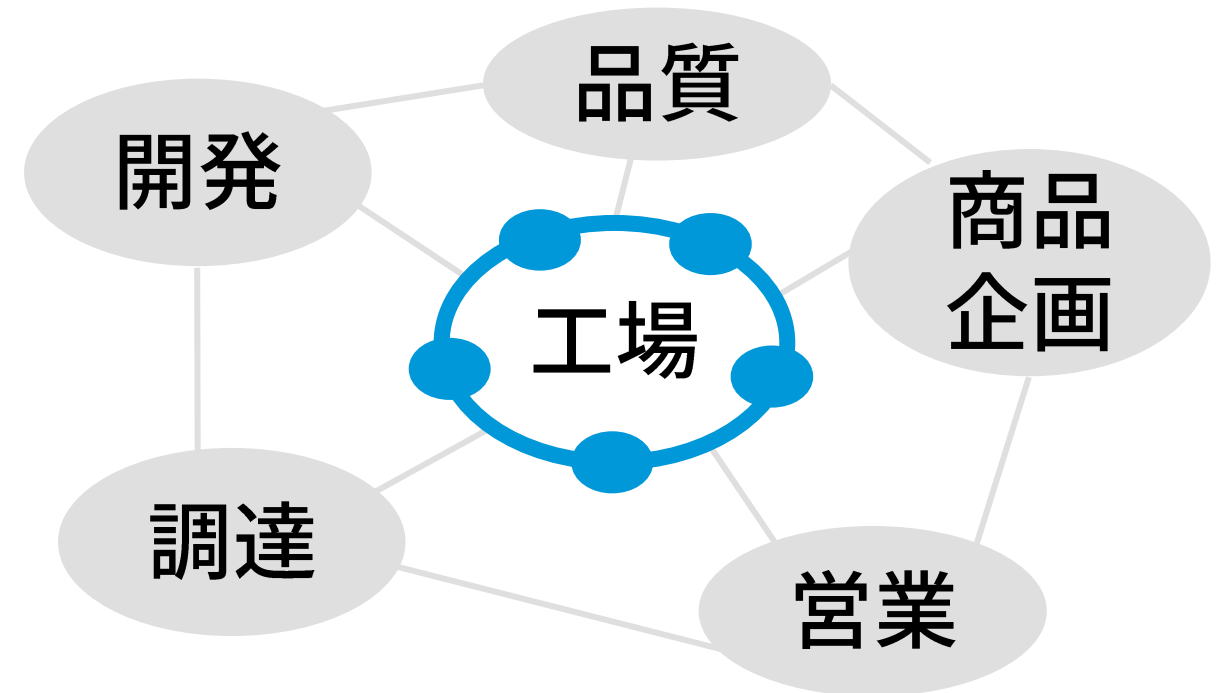
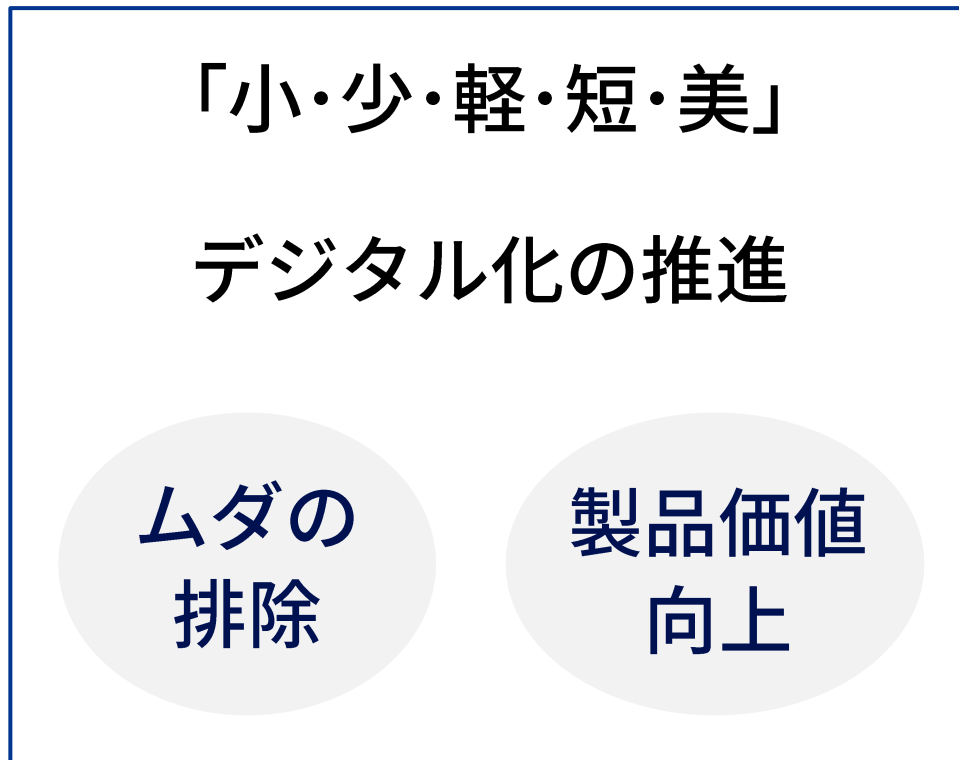


国内工場のカーボンニュートラル

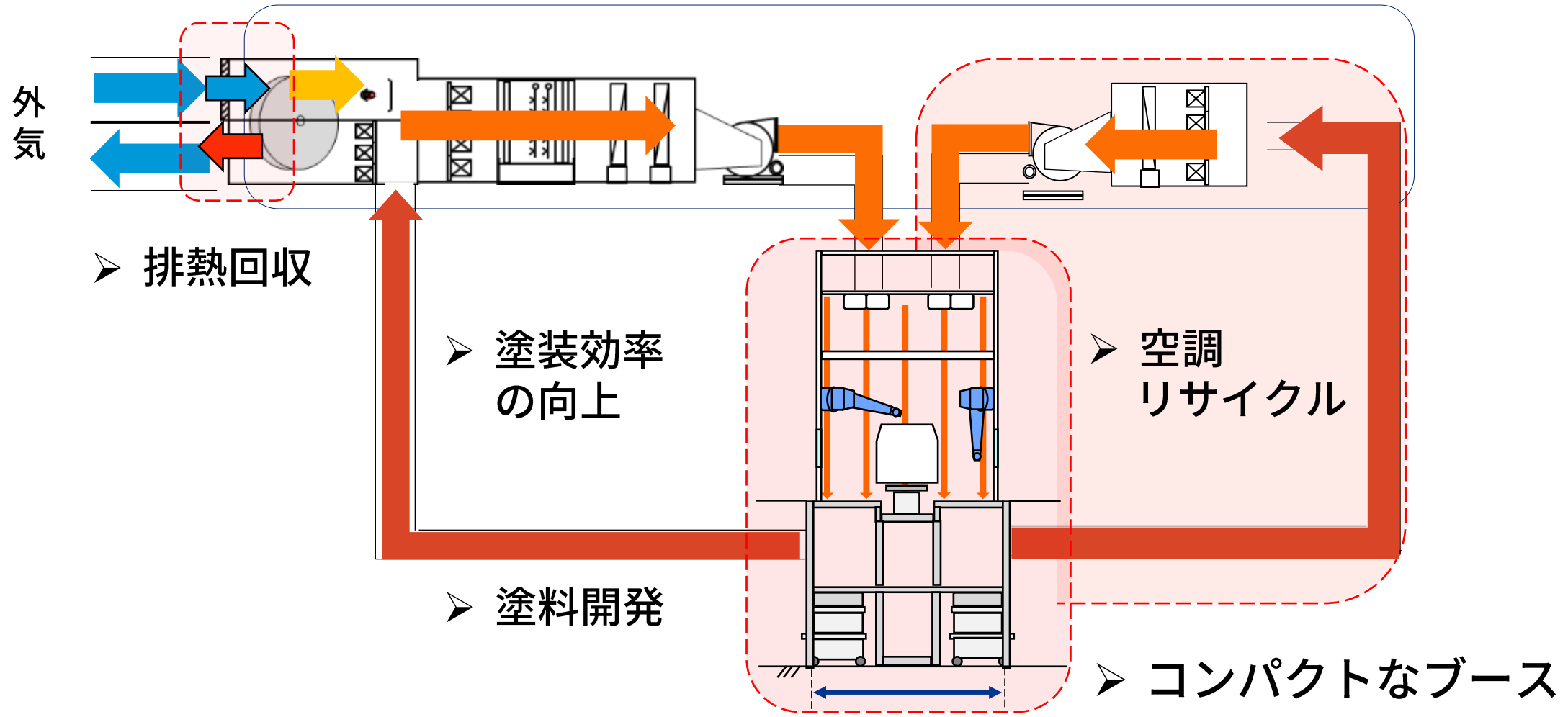
2035年度

「CO₂排出量の削減」 + 「お客様に価値ある製品・サービス提供」

部門間のデータ連携強化



塗装工場CO₂排出量 2016年度から2025年度で30%削減



工場のカーボンニュートラル化を推進

グリーン電力

水素製造

水素活用

風力発電



太陽光発電



水素発生装置

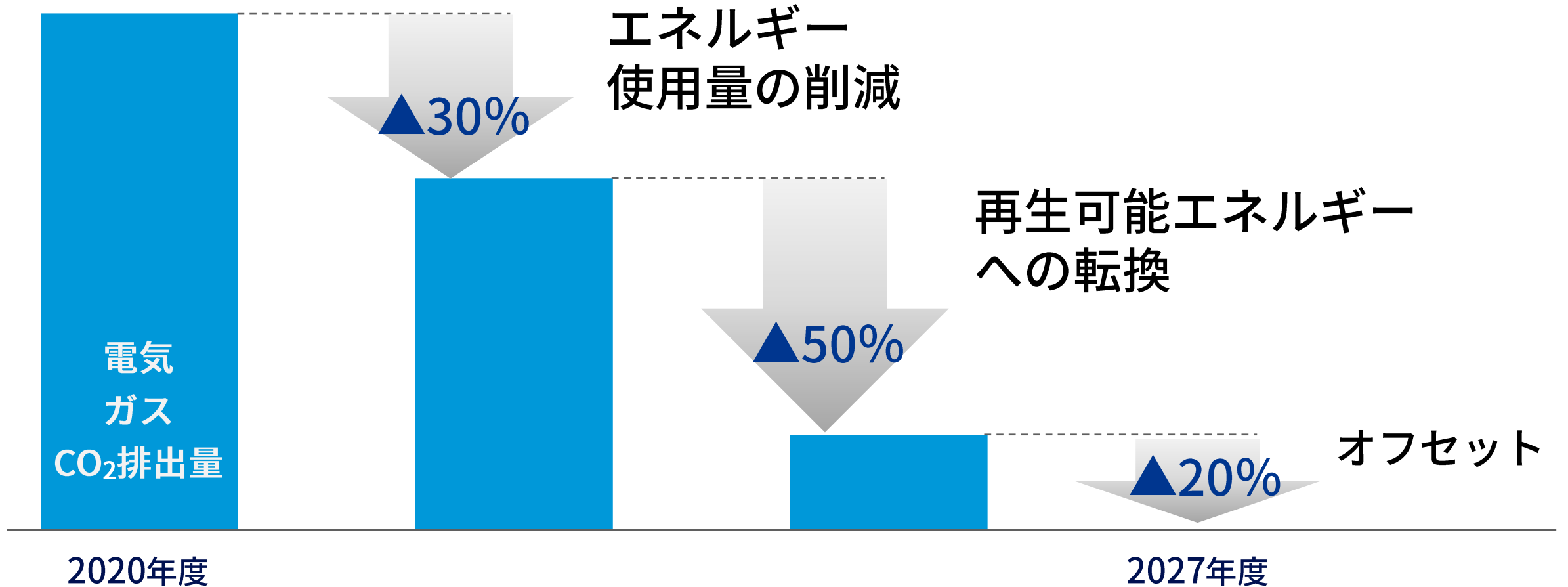


燃料電池：荷役運搬車等

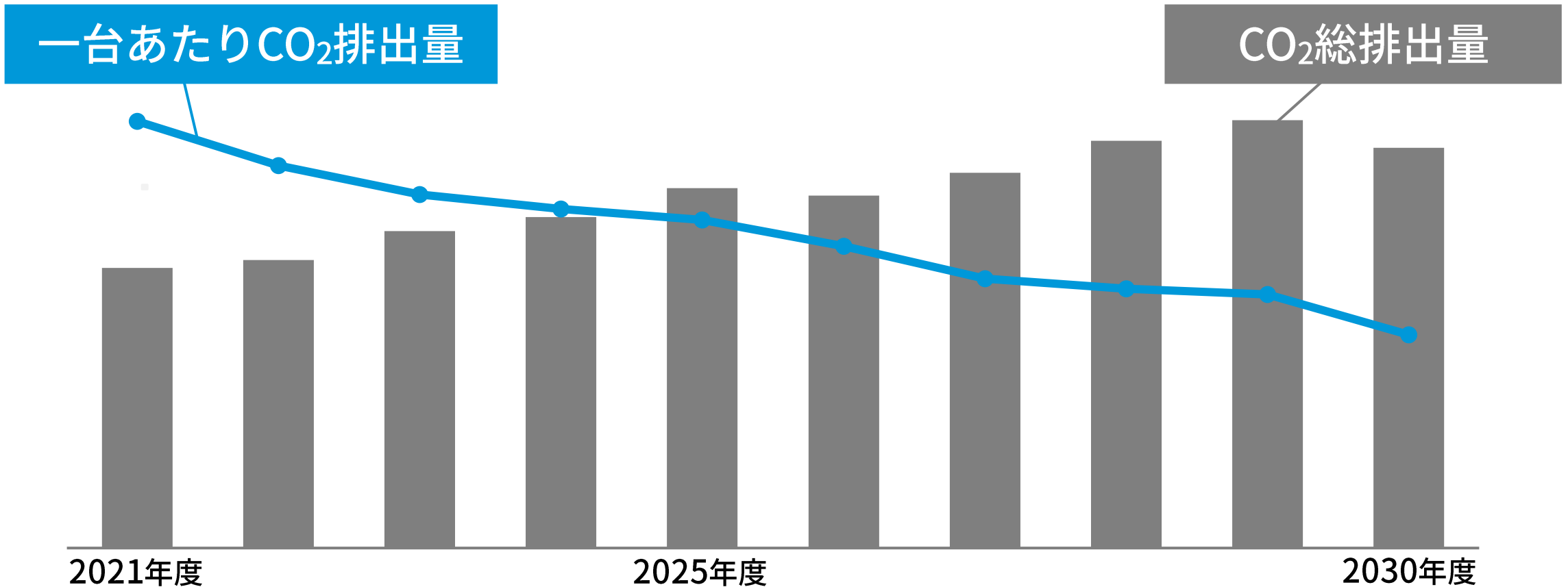


水素バーナー：塗装工程等

浜松工場のカーボンニュートラル 2030年 → 2027年度

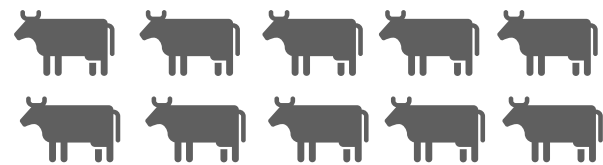


販売台数を増やしながら、CO₂排出量の削減へ“挑戦”



牛糞を原料とするバイオガス燃料の製造・供給事業へ

インドに合ったカーボンニュートラルを目指すソリューション



10頭の1日の牛糞 ÷ 1台の1日の燃料



カーボンニュートラル | バイオガス実証事業の歩み

2022年8月

インド政府関係機関の全国酪農開発機構^(※)と覚書を締結

(※) National Dairy Development Board

2022年10月

合同会社富士山朝霧Biomassへ出資

インド事業40周年記念式典 (インド)



Press Information Bureau Government of India提供

インド政府関係機関と覚書を締結(インド)



合同会社富士山朝霧Biomass (日本)



2022年12月

アジア最大規模の乳業メーカーを含めた3者での覚書を締結

全国酪農開発機構



スズキ



Banas Dairy社

実証事業の計画(案)

場所：インドグジャラート州バナスカンタ地域

規模：バイオガス生産量 約1,500kg/日

≒約500台のCNG車が1日に走行する燃料に相当

日程：24年半ば稼働開始

3者での覚書締結（インド）





カーボンニュートラルな
燃料の普及

メタンの大気放出抑制

有機肥料の促進

農村地域の収入源の創出

エネルギー自給率の向上

新たな雇用の創出

低価格なモビリティの普及

全世界のステークホルダーへ貢献

3. リソース

新興国の
経済発展に貢献

環境に貢献する
コンパクトな製品

経済性、品質に優れた
製品・サービス

スズキの強みを組み合わせた
人々の移動と生活を支える
スズキ独自の価値

ワクワクする
モノづくり

必要不可欠な
地域の足・生活の足



スズキ

提携

トヨタ

取引先

マルチ
スズキ

横浜
研究所

将来技術

量産技術

スズキR&D
インディア

スタート
アップ企業

SIC(※)

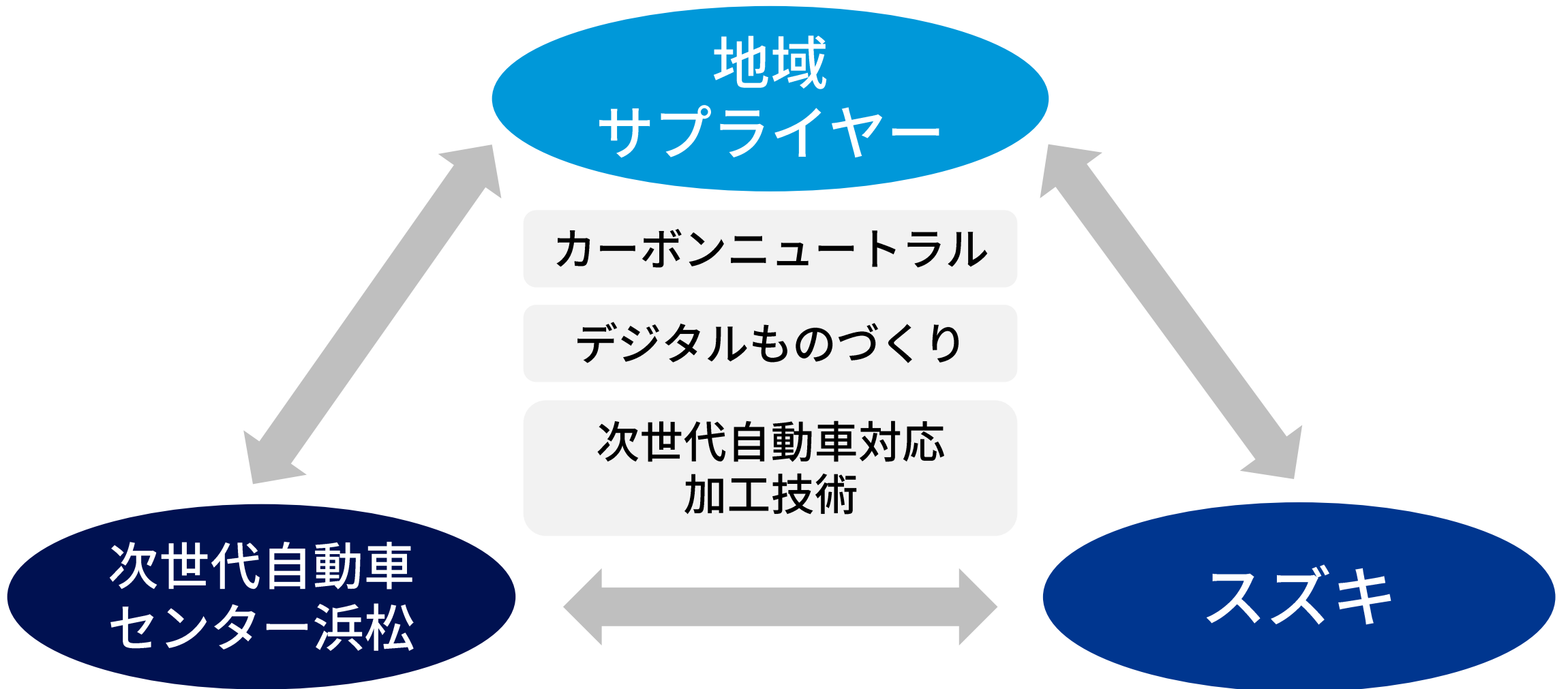
スズキ協力
協同組合

先行技術

日印大学
連携

※ Suzuki Innovation Center

地域産業力の強化



燃料をつくるプロセスでの効率化を研究

ENEOS

スズキ

SUBARU

ダイハツ

トヨタ

豊田通商

エタノールの
効率的な
生産システム

副生酸素と
CO₂の
回収・活用

システム全体
の効率的な
運用

効率的な
原材料作物
栽培方法

「競争と協力」 持続的成長と様々な課題克服

先進技術での協業

- 自動運転および先進安全技術
- 電動車用の車載電池

新興国のビジネス拡大

- インドを軸に電動車の相互供給
- アフリカでの市場開拓の推進

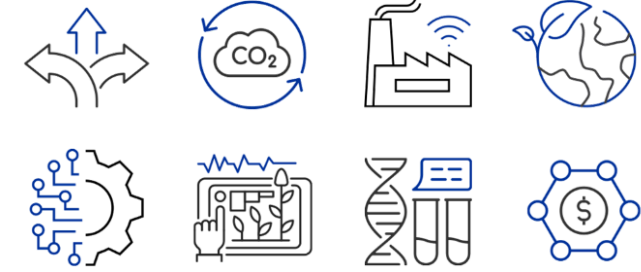
インドのカーボンニュートラル および循環型社会形成

- バイオ燃料普及の推進
- リサイクルへの取組み

リソース | スタートアップ企業との共創



Applied EV



Suzuki Global Ventures



Power X



Find out how you can own a vehicle and drive with our partner platform in just five days.

GET STARTED



Apply to Power



Get verified



Start driving

2023年度～2030年度の資源投入

研究開発費

2兆円

カーボンニュートラル・ソフトウェア

- 電動化、牛糞バイオガス事業
- 自動運転、先進安全技術

設備投資

2.5兆円

- バッテリーEV工場の建設
- 再生可能エネルギー設備

4.5兆円

〔内、電動化関連投資 2兆円
(含む電池関連投資0.5兆円)〕

4. 成長目標

人と社会に必要とされる会社であり続ける

構造改革

企業風土改革

人材育成

DX推進

リスク極小化

半導体・部品不足

原材料価格の高騰

品質確保

法令遵守

将来に向けた種まき

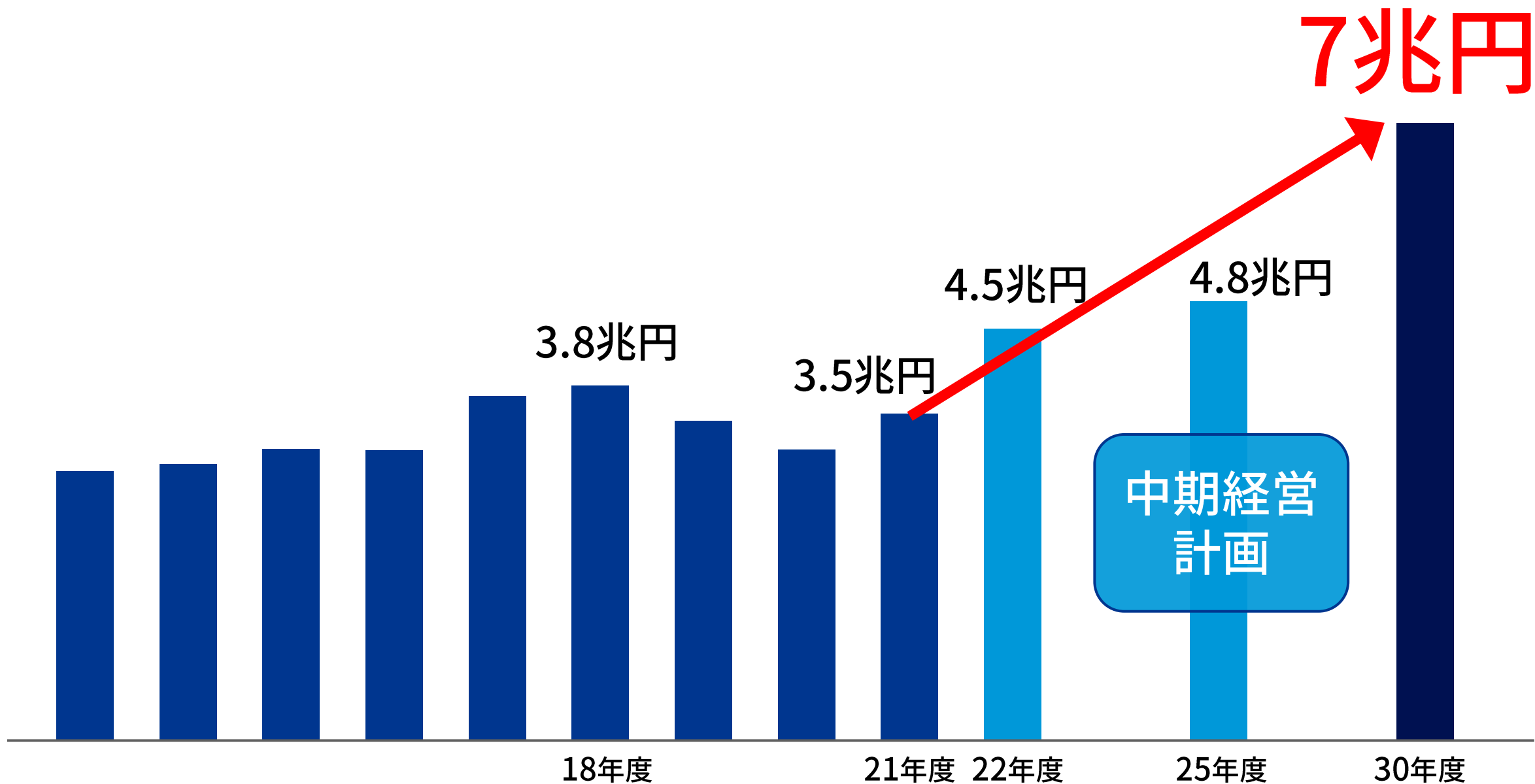
カーボンニュートラル

CASE

将来・先行技術

アライアンス

成長目標 | 連結売上高



現場・現物・現実

社是

- 一 消費者の立場になって
価値ある製品を作ろう
- 二 協力一致で新しい会社を
建設しよう
- 三 自己の向上にとつとめ常に
意欲的に前進しよう

小・少・軽・短・美

中小企業型経営

行動理念



生活の“パートナー”



